



K中通信

学校だより第9号
令和4年12月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

認め合い、支えあう気持ち

校長 佐藤 由利

今年も残すところあと10日余りとなりました。寒さが厳しくなってきた分、空気が澄んでいて、朝は晴れた日の富士山、夜は夜空に輝く星や月を眺めるのが楽しみです。

2022年は社会では胸を痛めることが多くありました。一方、心温まる、力をもらう、勇気づけられることも多い年でした。学校でも、徐々にいろいろな活動が再開し、行事や部活、学級活動等を通して皆さんが成長していく姿をたくさん実感することができました。学校の活動で大事なことは、学習はもちろんですが、いろいろな仲間が集まっている中で、お互いの違いを認め合いながら生活していく、お互いを気遣いながら生活していくということを学んでいくことだと私は思っています。今年は少しずつ、そういう学びの場が戻ってきました。

そんな中で、今年も人権週間に合わせて「人権作文発表会」が行われました。1年生から3年生まで5名の代表生徒が、緊張しながらも堂々と自分の思いを発表してくれました。発表してくれた皆さんが素晴らしかったことはもちろんですが、それと同じくらい、発表を聞いている全校生徒の様子が心に残りました。みなさんの聞く姿勢は素晴らしかったです。今回の発表会では、お互いの感じたことを話し合う時間はありませんでしたが、それぞれが振り返りのワークシートに記入したことを学級通信等で共有し、考えを深めたクラスもありました。後日読ませてもらった学級通信などから、話を聞きながら自分なりに考えを深めた様子がわかり、互いを認め合い、支え合おうとする心が育っていることを感じました。

最近読んだある大学の先生の話に「誰もが互いを認め合い、穏やかな生活を過ごしていくための唯一の手段は話し合うことです。」とありました。「相手の話をよく聞き、自分の思いを伝える」その力は人が持っている大切な手段です。軽井沢中学校の先生方はもちろん、生徒の皆さんがよく聞ける力、考えを伝える方法を身につけることが人権を守り、互いを認め合い、支え合いながら進む社会を生み出します。これからも、よく聞くこと、どう伝えていくかを考えていきましょう。

一年の終わりには、日本では「良いお年をお迎えください。」とあいさつを交わします。これから始まる新しい1年に期待する気持ちと、相手に対しても良い1年を過ごして欲しいという願いが込められた言葉です。なんとなく、心が和む、素敵なあいさつだなと思います。

生徒のみなさん、保護者・地域の皆さま、どうぞ、良いお年をお迎えください。